

S I P 第 1 期追跡調査の実施について

令和元年6月27日

S I P / P R I S M 総括

1. 趣旨

戦略的イノベーション創造プログラム（以下「S I P」という。）では、社会実装を実現するため、基礎研究から実用化・事業化までを見据えて一貫通貫で研究開発を推進している。今般、S I P 第 1 期（平成 2 6 年度～3 0 年度）が終了したため、各課題における成果の社会実装の状況を調査し、成功事例を積極的に対外的にアピールするとともに、社会実装の実現に向けてプログラム実施期間中から取り組むべき課題等を洗い出し、S I P 第 2 期の制度や課題の運営に反映することを目的として追跡調査を実施する。

2. 目指す成果

- S I P 成果の製品化又は新たなサービスのビジネス化が実現した案件の把握
- 民間企業等における継続的な研究開発を行っている案件とその実施状況及び製品化/サービス化までの計画の把握
- 研究開発を終了した案件とその理由の把握
- 製品化/サービス化が実現した優良事例において行っていた工夫や製品化/サービス化の未達成事例における課題の把握

3. 対象課題

上記の成果を得ることを目的として、以下の 1 0 課題に対して調査を行う。

- ・革新的燃焼技術
- ・次世代パワーエレクトロニクス
- ・革新的構造材料
- ・エネルギーキャリア
- ・次世代海洋資源調査技術
- ・自動走行システム
- ・インフラ維持管理・更新・マネジメント技術
- ・レジリエントな防災・減災機能の強化
- ・次世代農林水産業創造技術
- ・革新的設計生産技術

なお、「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」については、実施期間が平成27年度～31年度となっていることから、今般の追跡調査対象からは除く。

4. 調査手法

S I P第1期の各課題における研究責任者に対しアンケートを行うとともに、S I P第1期課題のPDや主な研究開発参画機関へのヒアリングを実施する。

5. スケジュール

2019年

- | | |
|-----|----------------------------|
| 7月 | 調査方法の詳細の確定 |
| 8月～ | PD、研究責任者等へのアンケート及びヒアリングの実施 |

2020年

- | | |
|----|-------------|
| 2月 | 調査報告書とりまとめ |
| 3月 | ガバニングボードに報告 |

(※今年度の調査結果を踏まえ、今後も適宜調査を行う予定。)

(以上)